

はな華



特別養護老人ホーム 清華苑 広報紙

2024年5月15日 第75号
発行：社会福祉法人 三幸福社会
発行人：総務部長 池田昌弘
編集：SEIKAEN Design Lab
〒674-0051 明石市大久保町大窪 3104 番 1
TEL 078-934-0800 FAX 078-934-0830 <https://seikaen.jp>



本日は4月1日、新年度の始まりです。私も今日から社会人3年目となります。相談員として勤務し始めてもう1年が経ったのかと早いものだと感じます。

先日、母校の神戸女子大学の福祉研究交流会にZOOMで参加しました。先生方が覚えて下さっているかなと少しワクワクしながら参加していました。終了後担任の先生だった方から、「立派な社会人になっていましたよ。嬉しいです。高校生向けの大学説明会の際には、淡路島から片道2時間もかけて通っている子がいました。無事に社会福祉士も取り卒業していった子がいるんだよ」ともあなたの話を話している。今後は、元気に特別養護老人ホームの相談員をしていることも付け加えておきますね」とメールが届きました。とても嬉しかったです。

4月は新しい環境や新たな目標に挑戦する絶好の機会です。本日は入社式もあります。

新たな仲間との出会いを大切に、お互いを助け合い、学び合い頑張っていきたいと思えます。

(生活相談員 原田七海)



前回の一言で、息子に子供が生まれおはあちゃんになった話をしました。あれから孫に何度か会いましたが、毎回大泣きされます。やはり孫より自分の子がかわい気持ちは変わらずです。息子は手のかかる子でした。小学校の時は、友達とみそ汁を飲みたいからと言って学童を脱走したり、自分より大きい子と喧嘩し顔に傷を作ってきたり、先生から何度も電話がありました。

中学校は、反抗期も酷く私が初めて息子に手を挙げたのもこの時期です。学校から電話がかかってくるたびに、私から先生に今日は何をやらしましたかと聞くようになっていました。ある日お弁当にどうしてもカップラーメンを持って行くと言い、止めましたが聞かなかったので、怒られて来いとそのまま学校に行かせたことがありました。案の定先生から電話があり、お母さん、カップラーメンの件ご存知ですかと聞かれたので、はい、知っています。言う事を聞かなかったので怒られて来いと持たせました親子そろってすみません。すると先生が、廊下に行列ができていますので教室を見たら、息子さんがラーメンを食べていました。怒るべきところですが、おいしそうに食べている顔とラーメンのスープを飲ませると廊下に行列ができていたところを見たらおかしくて怒れなくなりました。もう2回目はないかわかっていると思うので軽く注意だけにしてあげてくださいと言ってくれました。

そんな息子が父親になったので、心配しかりませんが、親の気持ちが変わるようになって見守っていきたいと思います。

(事務員 片岡佐智代)



皆さんにとって思い出の味はありますか？味覚は記憶を刺激して忘れていた出来事や経験を思い出させてくれるそうです。

私の思い出の味は、祖母が作った茶碗蒸しです。一人暮らしを始めた頃、茶碗蒸しづくりに失敗し、祖母に面白おかしく報告しました。

その後、祖母は癌を患い、箸も使えず思うように動かない身体になりましたが、ある日、茶碗蒸しを作ってくれました。私が一口食べて「美味しい！」と言うと、「前に自分で作ったけど失敗したって言うてたから。ゆまちゃんが好きい言うてくれたらそれでいい。」と笑顔を見せてくれました。私の為に一生懸命作った茶碗蒸しと祖母のあたたかい表情が忘れられません。

祖母は3年前に天国にいきましたが、茶碗蒸しを食べると、祖母の愛がふれ出すように記憶が蘇ります。皆さんも思い出の味で記憶の蓋を開けてみてはどうですか？

(介護員 塩岡由麻)

編集後記

今年度初めての広報誌の発行となります。今回は、満開の桜に囲まれて新たなスタートを迎えた新入職員のご紹介や、観覧会の写真特集など春を感じる盛り沢山の内容となっております。また、日々のご利用者の健康管理を主に担っている医療室紹介のコーナーもございます。これからも皆様と一緒に進んで頂ける「はな華」を発行して参りたいと思えます。今後ともよろしくお願致します。

(生活相談員 原田七海)



思い出とともに

総施設長 池田昌弘

桜の花とともに新しい年度を迎えさせて頂きました。NETFLIXのドラマ「初恋」から少し変更して引用します。

誰かが言った
人生はまるでジグソーパズルだと
どんなキラキラな思い出も
運命の女神を呪いたくなるような理不尽な仕打ちも
人生にとってはかけがえのないピース
成人式に出席できなかったこと
青の時間という名のインクの染み
冬の海岸の親密な時間
高校と大学でのキャンプファイヤ
かなわなかった夢
実らなかつた恋
離れていった人たち
あの日の過ちも
私の絵を埋めている

今でも時々思い出します。小学校の時にしたひどい
いたずらで、何故あんなことをしたんだろうと後悔し
ても、今となっては取り返しがつきません。その償い
をするために人に親切なことをしようと思ひ実行も
してきましたが、後悔は消えません。
みなさんは、自分の思い出どうつき合っているの
でしょうか。何かしているときにふっと思い出が頭に
蘇ります。その思い出は甘美なものであったり、苦く
つらいものであったりします。

布団に入って眠るまでの間に何気なく考えている
ときにも思い出は頭に蘇ります。あーでもないこーで
もないというふうに思い出にふけています。これは私
にとって貴重で大切な時間です。どれだけやり直した
いと思ってもどうすることもできない。逆に、変わる
ことのない確固として定まった過去であります。
また、思い出を何度も思い返す内に少しずつ思い出
が変化していくこともあり自分で勝手に都合よく作
り替えてしまうこともあると思います。これはいろい
ろな人と思ひ出話をするとき、同じ体験をした人と
覚えていることが微妙に食い違い議論になることか
らも分かります。
ある程度年を重ねた人には、若い人よりも思い出は
貴重であると思います。清華苑のご利用者も一見何も
していませんが、昔の写真が画面に表示され提案さ
れるので、時間のあるときに見ているとやはりその時
の思い出が鮮明に蘇ってきます。スマホのお節介だけ
どうれしい機能だと思えます。ときどき思い出に浸る
きっかけになっています。
地域のみならず、至らぬところも多々あると思いま
すが、今年度もどうかよろしくお願いいたします。



医務室たより

皆様いかがお過ごしでしょうか。さて今回は医務室の看護師6名の紹介をさせていただきます。日々のご利用者の健康管理を主に担っており医療的な処置や爪切り、足浴などのフットケア、他職種と共に認知症ケアやターミナルケアなど仕事内容は多岐にわたります。桜を見て今年も見ることが出来たと共に喜び、たわいもない会話に笑い、夕焼けを見てきれいだねと黄昏、季節の移りを感じながら毎日が過ぎていきます。そんな日々の生活が快適で心穏やかに過ごせるよう、寄り添うケアを目指しています。これからもどうぞよろしくお願いたします。(看護主任 大島さおり)



質問コーナー

①休日の過ごし方は? ②生まれ変わったら何の職業につきたい? ③タイムマシンがあったら?



大島さおり

- ①NETFLIX で映画やドラマを見て過ごす
- ②犬と猫専門の獣医師：言葉を言えない動物たちの声を聞きたい
- ③古代ヨーロッパやエジプト：世界遺産の建造物の建築中を見てみたい



狩口宏美

- ①観葉植物が好きなので水草やサボテン、ハーブの手入れ
- ②ツアーコンダクター：いろんなところへ行きたいから
- ③子供の頃生まれ育った神戸



山寺理恵

- ①飼っている犬(レナ子、ブルドック、キャリ)とのんびりTVを見て過ごす
- ②トリマー：カフェを併設したドッグサロンのお店を開きたい
- ③江戸時代：大奥に入り綺麗な着物を着てみたい



横山和美

- ①ライブ or 体のメンテナンス or U-NEXT で洋画やドラマ視聴
- ②保育士：子供が大好きだから
- ③未来：自分や好きな娘がどんな人生を過ごしているのか知りたい



玉垣雅子

- ①子供と公園で虫取り or 家事、アニメや漫画を見る
- ②家の設計士：理想の間取りで家を作りたい
- ③13~15年先の未来：子供が成人しているか確認したい



赤堀奈央

- ①子供と犬と旦那と遊ぶ
- ②スポーツ関連：体を動かすのが好きだから
- ③未来：自分や家族の未来を見てみたい



今年の入社式は満開の桜が間に合わず…ですが、新入職員向け研修を行っている間にいつも通りの顔を見せてくれました。まるで期待と不安を抱えている新入職員たちの背中を少しずつ押しつけているかのようでした。そして背中を押された仲間は法人として16名、そのうち特別養護老人ホーム清華苑には9名。多くの若者が仕事として福祉・介護の分野を選択してくれました。嬉しいです！私たち法人スタッフだけではなく、ご利用者の皆さんと一緒に過ごせることを楽しみにしていました。共に成長していきましょう！ようこそ、三幸福社会 清華苑へ。(採用担当 田村)



大谷莉子
20歳
私の自慢
笑顔
自己PR
私は小学校の時にソフトボール、中学校の時にハンドボールをしており、球技は得意です！これからよろしくお願致します。頑張ります。



前田美帆
22歳
私の自慢
安心感のある温かさ！
自己PR
誠実に、謙虚に働きます！争が少しばかり弾けるので、いつか皆様にお見せできたらいいなと思っています！よろしくお願いたします。



高木稀友
22歳
私の自慢
早起きです
自己PR
難しい事があってもすぐに諦めない所です。また誰に対しても優しく接し、常にマイベースな所です。



前田晴彦
22歳
私の自慢
継続して努力できる！
自己PR
私の強みはコツコツと努力できることです。私は毎日小さいことを着実に積み上げる事で目標に向けて精進していきたいと思っています。



豊中一斗
22歳
私の自慢
優しいです
自己PR
私の長所は優しいところです。この長所を活かして仕事にも取り組もうと思っています。



栗田侑弥
22歳
私の自慢
スポーツ（球技）が得意
自己PR
私の強みは継続力です。毎日、コツコツと努力をしっかりと積み、体重を30kg以上6ヶ月で減らすことができました。



大原理紀
22歳
私の自慢
聞き上手な所です
自己PR
私の長所は、聞き上手な所です。友達や家族から相談ののったり、困っていることがあれば話を聞く事です。私の長所を清華苑でも生かしていけたらと思っています。



井上颯
18歳
私の自慢
どこでも寝れます
自己PR
人と話すのが好きなので、積極的に利用者様とお話していきたいです。精一杯頑張ります。よろしくお願致します。



浜田寿来
18歳
私の自慢
占いができます
自己PR
ゲーム、漫画、映画、読書、スポーツ何でも好きです。多趣味なので同じ趣味を持っているかもしれません。気軽に声を掛けて下さい。





エピソードの内容と写真に写られているご利用者は関係ありません。

桜の木の下で ご利用者の言葉を胸に刻む

介護員 明松葵

昨年度は、皆様のご協力のおかげで沢山の行事を行うことが出来ました。感染症対策を行いながら数年ぶりに開催した納涼祭は、途中で雨が降り始め、やむを得ず中断となりました。しかし、少しの時間ですが、外に出て催し物を見たり、食事をしたり、普段とは違った雰囲気を楽しむ、「家族と共に楽しんで頂けた」と思います。コロナ前の日常に戻ってきている実感がしてとても嬉しく思いました。

年間行事を企画していく中でどの行事も心を込めて企画を行っておりますが、その中でも私自身が一番思い入れの強い行事は「観桜会」です。

毎年、春になると満開の桜の木の下でお花見をされる方も多いと思いますが、お花見が行われるようになったのはいつからかご存知でしょうか。花見の起源は奈良時代に貴族が花観賞を行っていた事が始まりだそうです。

現代では桜をさしますが、当時は梅の花が主流であったそうです。当時の日本人にとって桜は神様が宿る神聖な木として扱われていたと言われていました。貴族や農民たちの中でのみ行われていた花見は江戸時代頃より現代のように沢山の人々に浸透されていったそうです。

「ご利用者の皆さんと大きな桜の下でお花見をしていると、沢山の思い出話を聞かせて下さいました。『また一年この桜を見る為に元気で過ごそうね。』と私たち職員に笑顔で話しかけて下さるご利用者。

「今年が最後のお花見かもしれない。だからしっかりと目に焼き付けておこう。」と言われるご利用者。

それぞれの言葉を胸に刻んで、次の年もまたその次の年も「今年も綺麗に桜が咲いていますね」と言葉を交わせるように私たち職員は、毎日を大切に精一杯に対応させて頂きます。

